

2027 年度

大学院入学試験要項

博士前期課程
(学内進学)

青山学院大学
大学院理工学研究科

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとり仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、
①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する業務を行うために利用します。

アドミッションポリシー(入学者の受入れ方針)

《博士前期課程・修士課程》

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

《理工学研究科》

【基礎科学コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、物理科学または数理サイエンスを学び研究するための基礎学力がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、物理学・数学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【化学コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、化学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、化学および科学技術と社会との関係に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【機能物質創成コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、材料科学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、材料科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【生命科学コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、生物学、分子生物学、生化学、生物物理学、生命情報科学、生体分析化学などの基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、生命科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【電気電子工学コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、電気電子工学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、電気電子工学及び関連分野に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【機械創造コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、機械工学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、ものづくりに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【知能情報コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、情報テクノロジー関連分野の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、情報テクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【マネジメントテクノロジーコース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、経営システム工学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、マネジメントテクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

理工学研究科および各コースの教育研究上の目的・カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ウェブサイトにてご確認ください。

出願について

学内進学の出願期間は、2期に分かれています。

特別給付奨学金・理工 FUTURE奨励金の申請は、第一期出願者（有資格者のみ）に限り認められません。

【1】出願資格

本学部に在籍の卒業見込み者で、本理工学専攻への進学を第一志望とする者は、推薦制度である「学内進学」入学試験を受けることができます。この「学内進学」入学試験は、

- (1) 各学科での被推薦資格の認定
- (2) 各コースでの審査

の2段階のステップを踏んで行われます。

ステップ(1)では、各学科において、次のAまたはBを満たした者を被推薦資格者として認定します。

A：卒業年度 直前学期終了時(3月末)における成績順位(全科目のGPAまたは専門科目のGPAによる順位)で上位65%以上である者

B：各学科が定めた独自の推薦基準(実力試験など)を満たした者

ステップ(2)では、被推薦資格者が希望する研究指導教員の面接を受けたうえで、各コースが審査を行います。

この「学内進学」入学試験は、本学理工学専攻への進学を第一志望とする者に対する推薦入学試験制度であるので、制度の意味を良く理解して信頼性を損なわないように慎重に出願してください。当然ながら、この入学試験により進学する者は、本学の就職斡旋を受けられません。やむを得ず志望変更をする場合は、推薦を辞退するものとします。他大学大学院などの受験を予定している者は、9月に実施される入学試験による進学をめざしてください。

【各学科独自の推薦基準】 各学科が定める独自の推薦基準(上記B)を以下に示します。

物理・数理学科

物理科学コースの学生は下記物理科学科の基準に、数理サイエンスコースの学生は下記数理サイエンス学科の基準に、それぞれ従う。

物理科学科

物理科学科で2026年1月に実施した実力試験において、上位3分の1以内の成績を収めた者。ただし、物理・数理学科の物理科学コースの学生でこの実力試験を受験した者の成績も順位付けに加える。

数理サイエンス学科

数理サイエンス学科で2026年1月に実施した実力試験において、上位3分の1以内の成績を収めた者。

化学・生命科学科

前記のステップ(1)におけるAの推薦基準に満たない者に対して専門科目に関する実力試験(4月上旬または中旬)を課し、一定の合格基準に達した者を被推薦資格者として認定します。ただし、全科目または専門科目のGPAが1.9に達している者だけが実力試験を受験することができます。

電気電子工学科

2025年11月に実施した学力試験の得点が基準点以上である者。基準点を満たした者は2026年4月上旬に掲示します。

機械創造工学科

実力試験本試験の成績が満点の6割以上の者、技術士第一次試験に合格した者、または理工学国際プログラムに参加し、学科が定めた認定基準を満たした者。

経営システム工学科

経営システム工学科で実施する実力試験(2026年1月)の結果、大学院推薦レベルに該当する成績を収めた者。または、技術士第一次試験に合格した者。

情報テクノロジー学科

2025年の11月下旬に行った実力試験で大学院推薦レベルの得点を得た者。

【2】理工学専攻コース概要と注意事項

応募に際しては、希望する研究指導教員または大学院教務主任（当該出願コース）と十分に相談することが望まれます。

基礎科学コース

自然科学の基礎である数理科学、理論物理学（物性、固体、生物、宇宙など）、実験物理学（原子・分子、凝縮系、宇宙など）を中心とし、さらに数理生物学、複雑系、ソフトマター、地震やレオロジー、量子多体系、量子制御、スピントロニクスなどへも視野を広げています。これら専門分野の研究に携わることは自然科学の神髄に迫る醍醐味を味わうことでもあり、同時に、山積する多種多様で千姿万態な問題の中から本質的な課題を見つけ出し、モデルを構築してそれを解決する能力を養うことにも通じます。深い教養に裏打づけられた知性に富む、自立的、能動的、かつ直観力に優れた人材を涵養します。

化学コース

物理化学、有機化学、無機化学の3分野で構成されています。分子および分子集合体を対象にして、化学本来の視点から研究を遂行し、幅広く深い化学的素養を身につけた人材を育成します。

機能物質創成コース

新機能を持つ物質の創成を中心に、物質設計やデバイス作製等の応用も視野に入れた総合的な研究を行うことを目的としています。物性物理学、固体化学、物質科学、薄膜工学、電気物性工学、表面科学等のいずれかを基礎におきつつ、最先端の機能物質に関する分野を横断した幅広い知識に精通した人材を育成します。

生命科学コース

生命科学の急速な進歩は、新たな学問領域や産業領域を切り拓き、社会に対しても大きな影響を与えつつあります。生命科学コースでは、この広い領域の共通基盤となる知識を身に付け、生命現象を担う分子の構造、機能、およびその調節機構の研究を通して、自ら研究を進める能力の育成を目指しています。また、理工学専攻中の生命科学という特色を生かし、医薬品、食品などの既存分野だけでなく、生命科学領域をフロンティアとする新しい技術の開発にも貢献できる人材を育てたいと考えています。

電気電子工学コース

回路系から情報通信系、材料・物性系まで広い研究分野の研究室がそれぞれ大学院生を受け入れています。技術者、研究者を目指す者として、現代社会の基盤を支えるエネルギー分野、計測・制御分野、情報・通信分野、電子デバイス分野、材料・物性分野、またそれらの関連分野を対象に学習、研究を進めています。研究指導を重視し、それらを通して自ら考える能力、発見能力、問題解決能力の育成に努めます。技術者、研究者を目指す者として大学院で何を追究したいのか、目的意識をはっきりと持って進学してもらいたいと思います。

機械創造コース

本コースは、人類の持続的発展に役立ち、優れた機能を持つ機器やシステムを創造する研究者と技術者を養成します。すなわち、エネルギー・環境・安全・倫理に対する広い視野に立って、ものの形や機構と力学的作用を深く理解させる教育・研究を行います。さらに、機械に代表されるハードと知能に代表されるソフトとの融合を図り、進んだ情報処理能力、高度な計測技術と解析技術を修得させ、研究指導を通じて総合力を養い、自ら問題発掘と解決のできる学生を育てます。

知能情報コース

知能情報コースの教育と研究はデータサイエンス、知識工学と自然言語処理、コンピュータ・ビジョン、ロボティクス、コンピュータグラフィックス、コンピュータヒューマンインタラクション、ウェアラブルコンピューティング、ネットワーク技術とウェブ技術を含む計算機や情報に関連する幅広い分野を網羅している。新しい技術の創造と習得、ならびに人間社会内のその技術の役割の理解がコースの目的です。

マネジメントテクノロジーコース

製品ライフサイクル、生産システム、サプライチェーン、経営技術、環境経営、品質経営などの現代社会が抱える問題領域について、データサイエンス（分析技術）、システムデザイン（モデル化技術）、ソリューションデザイン（最適化技術）の観点に立ったそれらのマネジメントに必要な概念・方法論・システムの構築とその運用を学び、研究します。経営システム工学科のみならず他学科、他学部の卒業生の受け入れを歓迎する方針です。

【3】コース兼任担当制度

本学大学院理工学研究科の教員である者のうち、以下の①②の両方に該当する者は、コース兼任担当（コース兼任）の資格者です。本研究科教員は、入学試験合格者の希望に基づき、本研究科での資格審査で承認された場合、コース兼任担当者となることができます。入学を希望する専修コースと、希望する研究指導教員の所属専修コースが異なる場合は、出願時に希望する研究指導教員に必ず申し出てください。

- ①専門とする研究が、他コースの研究分野を跨ぐ、境界領域に発展している教員。
- ②分野を跨ぐ境界領域での研究を主題とする学生が、研究指導を希望している教員。

【4】スケジュール

出願資格発表日：

2026年4月15日（水）10：00

※各学科より発表（J/L/O棟の各学科の掲示板にて貼り出されます）

出 願 期 間：

第一期出願期間

2026年5月21日（木）～5月22日（金）

※理工学研究科特別給付奨学金、理工 FUTURE 奨励金の申請希望者（有資格者のみ）は、第一期に出願のこと。

第二期出願期間

2026年6月18日（木）～6月19日（金）

※授業料後払い制度の利用を希望する方（外国人留学生（在留資格が「留学」の方）申請対象外）は、出願期間中に必要な手続きを取ってください。詳細は後述の【8】授業料後払い制度について掲載の申請要項のQRコードまたはURLを参照してください。

書類入手方法：

出願要項は、本学ホームページよりダウンロードしてください。

※学務課の窓口ではお渡ししておりません。

出願受付方法：

窓口または郵送

【注意】

- ・窓口受付の場合は、各出願日の12：30～16：00に限ります。
- ・郵送にて出願の場合は、各出願期間最終日の消印有効です。
- ・これを過ぎたものは受理せず返送します。
- ・郵送にて出願書類を提出する場合は、受験票返信用封筒（切手貼付、送付先記入済）を出願書類に同封すること。

審査について：

（第一期・第二期ともに）2026年7月1日（水）～7月13日（月）

合格発表日：

合格発表は、学生ポータルにて行います。

（第一期・第二期ともに）2026年7月24日（金）13：00

【5】出願書類(A4で出力) ※必ず巻末のチェックリストを参照のうえ、必要書類を提出してください。

1. 入学志願票 (本学所定用紙) **【全員】**
2. 受験票 (本学所定用紙) **【全員】**
3. 振込通知書 (本学所定用紙) ※詳細は【6】入学検定料に記載します。 **【全員】**
4. レターパックライト (入学手続き書類発送用) **【全員】**

本学から合格者へ入学手続き書類を郵送するため、レターパックライト (430 円) を各自で用意ください。なお、「お届け先」欄には、入学手続き書類の送付先となるご自身の住所を記入して提出してください。

(書類は 12 月に発送予定ですので、12 月時点で居住、または確実に受け取れる住所を記入してください。)

5. 受験票返信用封筒 (郵送での出願者のみ) ※要切手貼付、送付先記入
6. 理工学研究科特別給付奨学金 申込書 (本学所定用紙) **【該当者のみ】**

※詳細は「【7】奨学金について」に記載します。

理工学研究科特別給付奨学金の申込書は、第一期の出願の際に提出が必要です。第一期出願者のうち、特別給付奨学金申込希望者かつ有資格者は提出漏れのない様注意してください。

[出願書類送付先]

青山学院大学 相模原事務部学務課

理工学研究科入学願書受付係宛

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

TEL 042-759-6033(ダイヤル)

【6】入学検定料 ※出願受付後、入学検定料は返還いたしません。

35,000円

1. 以下①～③いずれかの方法で入学検定料をお支払いください。

①銀行振込

※巻末にある所定の振込依頼書を使用すること。

②コンビニ支払い (巻末の通り)

③クレジットカード払い (巻末の通り)

※ATM・インターネットバンキング等は不可ですのでご注意ください。

2. ①～③のいずれかでお支払い頂いた証 (振込依頼書控えや支払い完了メールを出力したものを) を「貼付用紙」にしっかりと貼り付けてください。

※銀行振込の場合は、銀行の収納印の押された振込通知書を貼り付けること。

【7】各種奨学金について

学内進学（第一期）に出願する者で、所定の基準を満たした者については、理工学研究科独自奨学金の申請資格が得られます。

1. 理工学研究科 特別給付奨学金

採用予定人数：

- (1) 授業料の全額を給付：
成績上位者 5 名 × 6 学科（数理サイエンス学科以外）
成績上位者 3 名 × 1 学科（数理サイエンス学科のみ）
- (2) 授業料の半額を給付：
各学科において、成績上位 15%以内の者から上記（1）に該当する者を控除した人数

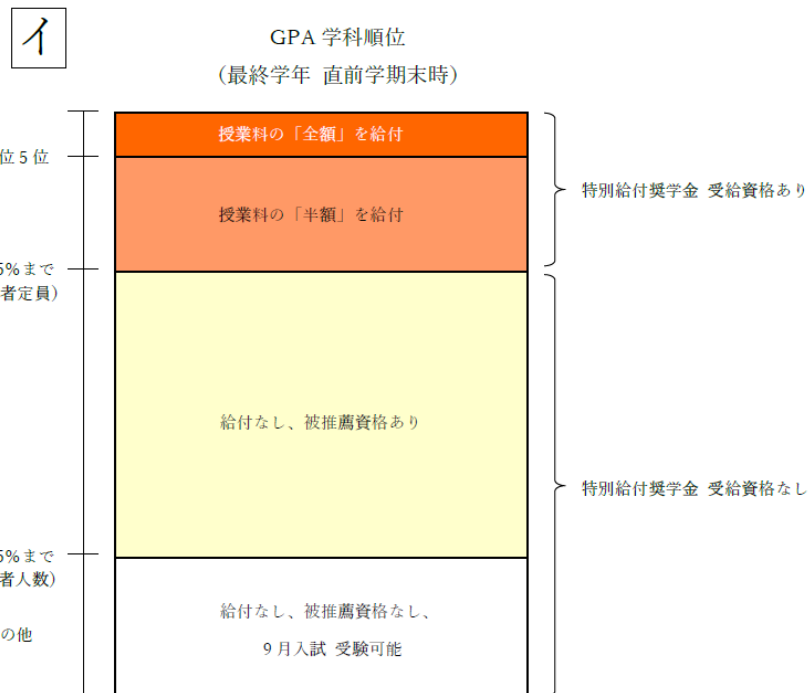
申請資格：

理工学研究科への学内進学を希望する者で、次の条件を全て満たすもの

- (1) 理工学研究科への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。
- (2) 当年度において理工学部卒業見込みが成り立つこと。
- (3) 次のいずれかの条件を満たす者

イ：学内進学に係る第一期出願時において、希望者が本学で修めた成績が所定の基準（成績上位 15%以内）を満たしていること。

ロ：3 年次後期から 4 年次前期までの期間に交換留学生として協定校へ通年留学した者



申請資格保有者発表日：

2026 年 4 月 15 日（水） ※学内進学被推薦資格発表時に併せて、学科より発表

給付期間：

給付期間は、理工学研究科博士前期課程に在学している期間とする。ただし、標準修業年限(2年)を超えることができない。

申請方法：

学内進学（第一期）の出願書類に併せて、「理工学研究科 博士前期課程 特別給付奨学金 申込書」を提出すること。ただし、予定指導教員の署名が必要。

選考及び結果発表の時期：

選考時期：7月

結果発表：入試の合格発表時（7/24）に学生ポータルにて通知します。

給付方法：

特別給付奨学金は、各学年において納付すべき授業料年額相当額又はその半額を免除することにより、これを給付したものとみなす。

停止、取消又は返還：

以下のいずれかに該当した場合は、特別給付奨学金の給付の停止若しくは取消しをし、又は返還を求めることができる。

- (1) 休学又は退学をしたとき。
- (2) 訓告・停学若しくは退学処分を受けたとき。
- (3) 疾病などのために長期に渡って欠席し、修了の見込みがなくなったとき。

給付奨学金の重複：

特別給付奨学生は、本学及び学校法人青山学院における学費に充当するための奨学金（給付・貸与）を重複して受けることができない。

2. 理工 FUTURE 奨励金

申請資格保有者：

本研究科学内進学（第一期）に出願し、合格した者のうち、特別給付奨学金の申請を行わない者。

採用予定人数：

各コース最大1名（合計最大8名）

申請期間：

大学院進学後（M1）の前期の履修登録期間内（窓口開室時間内）

※出願の際には申請する必要はありません。合格発表後、有資格者にのみ学生ポータルにてご案内します。

申請方法：

所定用紙（理工 FUTURE 奨励金申込書）に必要事項を記入し、大学院での予定指導教員に署名をもらったうえで応募者本人が学務課窓口に窓口受付時間内に提出する。

※所定用紙についても、上記案内と一緒に送ります。大学院進学後の2027年4月にも対象者の方に再度ポータル配信する予定です。

給付金額：

80,000円を入学年次に1回限り給付する。

【8】授業料後払い制度について ※問合せ先：学生生活部学費・奨学金課 TEL:03-3409-7945

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下QRコードまたはURLより申請要項を確認の上、出願期間中に必要な手続きを取ってください。

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。

【申請要項QRコード】



【申請要項URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

◀ 他奨学金との併願・併給について(注意事項) ▶

【7】1.「理工学研究科 特別給付奨学金」について

併願・併給は可能ですが、授業料減免の扱いになるため、奨学金の給付額(授業料全額・半額)に応じて、後払いできる授業料が変わりますので、ご注意ください。

授業料全額の給付を受ける場合は、授業料後払いの対象額は0円、授業料半額の給付を受ける場合は、授業料後払いの対象額は残りの半額となります。

この奨学金に採用が決定した場合、授業料後払い制度を選択するより、第一種奨学金の貸与を受けた方が、貸与額が大きくなる場合があります。授業料納付猶予申請をする際は十分ご検討ください。

授業料納付猶予申請をした方は、大学院入学後に授業料後払い制度を申請する必要があります。授業料納付猶予申請をしたにもかかわらず、第一種奨学金を申請した場合は、猶予分の授業料を所定の期間内に納付いただく必要があります。

【9】入学手続について

入学手続書類発送時期：

2026年12月中

合格者には、出願時に提出されたレターパックにて、入学手続書類を郵送します。入学手続に関する詳細は、「入学手続要項」でご確認ください。

入学手続受付方法：

窓口または郵送 ※ただし、今後の状況により、郵送受付のみとなる可能性があります。

郵送には本学所定の封筒を使用すること（書留・速達）。消印の日付が締切日を過ぎたものは受理せず、返送します。

【注意】

手続書類は12月中に投函します。2026年の年明け以降も書類が届かない場合には、必ず相模原事務部学務課（ダイヤルイン 042-759-6033）にお問い合わせください。期日以降は理由の如何を問わず受け付けませんので、充分注意してください。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

入学手続締切日　：　2027年1月29日（金）までの消印有効

【10】問合せ先

相模原事務部学務課 TEL 042-759-6033（ダイヤルイン）

※合否に関する問い合わせには一切応じられません。

学費等納入額の内訳について(2026 年度参考掲載)

2027 年度学費等は現在未定のため、改定された場合は改定後の金額となります。

学費等納入内訳 (2026 年度参考)

費目	対象者	金額 (右記奨学金なし)	特別給付奨学金 (授業料全額免除)	特別給付奨学金 (授業料半額免除)	備考
学 費	入学金	0 円	0 円	0 円	入学時のみ ①
	授業料	333,000 円 ※1	0 円 ※2	166,500 円 ※3	年額：※1 666,000 円 ※2 0 円 ※3 333,000 円
	在籍基本料	40,000 円			年額：80,000 円
	施設設備料	50,000 円			年額：100,000 円 2 年次：100,000 円
	教育活動料	40,000 円			年額：80,000 円 毎年納入
	(小計)	463,000 円	130,000 円	296,500 円	
諸 会 費	後援会費	2,500 円			年額：5,000 円 毎年納入
	◎校友会費	0 円			入学時のみ ②
	学会費	2,000 円			年額：4,000 円 毎年納入
	(小計)	4,500 円			
入学時納入金合計	467,500 円	134,500 円	301,000 円	(後期分学費等含まず)	
初年度納入金合計	935,000 円 ※1	269,000 円 ※2	602,000 円 ※3	後期分学費等： ※1 467,500 円 ※2 134,500 円 ※3 301,000 円 を含む	

学費等には消費税は加算されません。

- ① 入学金：本学学部卒業見込者 …… 納入免除
- ② 校友会費 …… 本学出身者は納付済のため不要

備 考

1-1. 【奨学金なし】入学手続き時の納入金額

入学手続き時 納入金額	467,500 円
-------------	-----------

1-2. 【理工学研究科 特別給付奨学金あり（授業料の全額免除）】入学手続き時の納入金額

入学手続き時 納入金額	134,500 円
-------------	-----------

1-3. 【理工学研究科 特別給付奨学金あり（授業料の半額免除）】入学手続き時の納入金額

入学手続き時 納入金額	301,000 円
-------------	-----------

後期分学費は、入学後、後期に納入してください。なお、入学手続き時に後期分学費を併せて納入することもできます。

2. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行なわれた場合は、在學生にも改定後の学費等を適用することがあります。

3. 「入学辞退願」提出について

本大学院の入学手続きを完了した後、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、「入学辞退願」が2027年3月31日16:00までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格発表時にお渡しする「入学手続き要項」をご覧ください。

4. 理工学研究科 特別給付奨学金 について

初年度の受給については、授業料の全額・もしくは半額を免除することで給付したものと見なされますので、特に必要な手続はありません。（半額免除は各学期の授業料が半額となります）

次年度の奨学金受給には継続手続が必要です。継続手続を失念しないよう注意してください。（継続手続きについては別途、対象者に学生ポータルにて連絡します。）

連携大学院方式について

連携大学院方式とは、青山学院大学大学院理工学研究科（以下「大学院」という。）が国立・私立等の研究所等（以下「研究所」という。）と協定に基づき連携をして、研究所の研究者を本学の客員教授または客員准教授（以下「客員教員」という。）として委嘱し、大学理工学研究科の学生（以下「大学院学生」という。）は最新の設備と機能を有する研究所において、それらの客員教員から修士論文および博士論文の研究指導等を受け、大学院の研究領域の拡大はもとより新たな学問領域の確立を図り、大学院教育を多様化することを目的とした制度です。

客員教員（指導教員）

本学大学院において必要とみとめられる研究分野について、研究所の研究員を客員教員として委嘱します。

大学担当教員（副指導教員）

本大学院の専任教員がこれにあたり、客員教員に協力して、大学院学生の研究指導等について補完的役割を担います。

大学院学生

本学大学院に在籍し、課程修了に必要な単位は本学で修得する。研究指導は原則として研究所において客員教員から受けることとなります。

<2026 年度連携大学院方式に伴う受入先>

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

独立行政法人 産業技術総合研究所

（注5）連携大学院方式による指導教員を希望する場合は、必ず出願前に該当する大学担当教員にお問い合わせください。なお、連携大学院方式による客員教員については、2025年度の教員組織を参考に記載しております。

1. 博士前期課程

理工学専攻

基礎科学コース

研究指導教員		専門分野
教 授	市原直幸	確率論、偏微分方程式論
	貝瀬秀裕	最適制御理論
	坂上貴洋	ソフトマター物理学
	坂本貴紀	重力波源の電磁波対応天体の探査
	谷口健二	表現論、球関数
	津田照久	複素領域の微分方程式、特殊函数
	中山裕道	位相幾何学、力学系、微分位相幾何学
	西山 享	表現論、調和解析、離散数学
	前田 はるか	原子物理学実験、量子制御、極低温リユードベリ原子・プラズマ
	増田 哲	非線形可積分系
	松川 宏	摩擦の物理
	山崎 了	宇宙物理学、高エネルギー天文学
准 教 授	吉田 篤正	宇宙物理学、トランジェント天体
	中田行彦	遅延微分方程式、数理生物学
	松田能文	位相幾何学、幾何学的群論
客員教授 (連携大学院方式)	山中 卓	数理ファイナンス
	山口弘悦	宇宙物理学、X線天文学 (大学担当教員は山崎 了教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	吉田 哲也	気球工学、宇宙粒子物理学、素粒子物理学実験 (大学担当教員は坂本 貴紀教授)
	福家英之	宇宙線物理学、飛翔体実験
コース兼任教授	富重道雄	生物物理学、一分子計測、生体分子機械
	古川信夫	物性理論、新規機能性物質の材料設計

化学コース

研究指導教員		専門分野
教 授	阿部二郎	量子化学、物性化学、機能物質化学
	坂本章	物理化学、分子分光、構造化学
	清水章弘	有機化学、構造有機化学、有機電子移動化学
	鈴木正	物理化学、レーザー光化学
	長谷川美貴	錯体化学、ランタニド錯体の光化学
	村井征史	有機合成化学、有機元素化学、構造有機化学
准 教 授	中田恭子	理論化学、固体物性理論、ナノ炭素材料

機能物質創成コース

研究指導教員		専門分野
教 授	北野晴久	物性物理学、超伝導と電荷秩序、マイクロ波物性
	重里有三	固体化学、高度な機能を有する無機薄膜材料の創成
	下山淳一	固体欠陥化学、新機能材料創成、新超伝導物質開発
	春山純志	メゾスコピック系の物理学、量子ナノデバイスの開発
	古川信夫	物性理論、新規機能性物質の材料設計
	三井敏之	表面科学、生物物理学
客員教授 (連携大学院方式)	竹歳尚之	ナノ薄膜・界面の熱物性、薄膜・微小領域熱物性計測技術の開発 (大学担当教員は重里 有三教授)
	八木貴志	固体物理学、熱物性解析 (大学担当教員は重里 有三教授)
	山下雄一郎	材料科学、固体物理学、材料データベース (大学担当教員は重里 有三教授)
コース兼任教授	石河泰明	電子物性工学、薄膜デバイス
	黄晋二	電子デバイス工学、結晶成長、電子材料工学

生命科学コース

研究指導教員		専門分野
教 授	阿部文快	分子生物学、生化学、生物物理学、圧力生理学、分子遺伝学
	木谷茂	応用微生物学、天然物化学、生化学、分子生物学
	諏訪牧子	バイオインフォマティクス、計算生物学、生物物理学、ゲノム情報学、生命情報に基づくタンパク質の構造・機能予測
	田邊一仁	生体分析化学、分子イメージング、生物有機化学、核酸化学
	富重道雄	生物物理学、一分子計測、生体分子機械
	平田普三	生化学、分子生物学、細胞生物学、発生生物学、生理学、脳科学、疾患、老化
コース兼任教授	三井敏之	表面科学、生物物理学

電気電子工学コース

研究指導教員		専門分野
教 授	石 河 泰 明	電子物性工学、薄膜デバイス
	黄 晋 二	電子デバイス工学、結晶成長、電子材料工学
	外 林 秀 之	光ネットワーク、光センシング
	地 主 創	情報・通信理論
	野 澤 昭 雄	生体計測工学
	松 本 洋 和	パワーエレクトロニクス
	米 山 淳	制御工学、システム理論
准 教 授	須 賀 良 介	マイクロ波工学、環境電磁工学
	全 俊 豪	高電圧工学、電力工学、プラズマ工学
	横 式 康 史	アナログ・デジタル回路、CMOS集積回路
客員教授 (連携大学院方式)	水 野 貴 秀	宇宙工学、計測工学 (大学担当教員は外林 秀之教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	三 田 信	宇宙用マイクロ・ナノデバイス、観測ロケット・衛星用搭載機器 (大学担当教員は外林 秀之教授)
	豊 田 裕 之	宇宙用電源システム・太陽電池・蓄電池 (大学担当教員は外林 秀之教授)

機械創造コース

研究指導教員		専門分野
教 授	熊 野 寛 之	熱・環境工学、伝熱工学、蓄熱技術
	菅 原 佳 城	機械力学、制御工学、航空宇宙工学、ロボット工学
	長 秀 雄	材料科学、超音波計測、非破壊評価
	麓 耕 二	熱流体工学、エネルギー変換工学、生体熱工学
	横 田 和 彦	航空宇宙工学、航空宇宙エンジン工学、流体力学、流体振動学、ターボ機械学
	米 山 聡	材料力学、実験力学
	渡 邊 昌 宏	流体関連振動、流体構造連成力学、振動工学
准 教 授	田 崎 良 佑	生産加工、人間ロボット共生、システム制御工学
	蓮 沼 将 太	材料強度学、金属疲労、マルチスケール解析
客員教授 (連携大学院方式)	徳 川 直 子	流体力学 (大学担当教員は横田 和彦教授)
	後 藤 健	宇宙構造、材料工学、複合材料工学 (大学担当教員は米山 聡教授)
	森 治	宇宙機システム、宇宙機の動力学・制御 (大学担当教員は菅原 佳城教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	熊 澤 寿	構造力学、材料力学、航空宇宙工学 (大学担当教員は蓮沼 将太准教授)

知能情報コース

研究指導教員		専門分野
教 授	Dürst, Martin J.	ワールドワイドウェブ、ソフトウェアの国際化、ソフトウェア科学
	Lopez, Guillaume F.	ウェアラブルコンピューティング、人間情報学
	伊藤 雄一	ヒューマンコンピュータインタラクション、無意識コンピューティング、バーチャルリアリティ
	大原 剛三	発見科学、データマイニング、機械学習、社会ネットワーク分析
	楽 詠 瀬	コンピュータグラフィックス、レンダリング、アニメーション、デジタルファブリケーション、物理シミュレーション、計算統計
	鷺見 和彦	パターン認識（画像認識・画像理解・コンピュータビジョン）、セキュリティ（映像セキュリティ・生体個人認証）
	戸辺 義人	情報通信工学、実世界コンピューティング
	森田 武史	知識工学、オントロジー工学、セマンティックウェブ、ウェブインテリジェンス、知能ソフトウェア工学
	山口 博明	ロボット工学、制御工学、メカトロニクス

マネジメントテクノロジーコース

研究指導教員		専門分野
教 授	大内 紀知	イノベーション・マネジメント、技術経営学、データ分析
	小野田 崇	機械学習、設備診断・サイバーセキュリティ、人工知能、ビッグデータ解析
	熊谷 敏	経営工学、経営管理システム
	栗原 陽介	システム工学、情報工学、計測工学、信号処理
	宋 少秋	組合せ最適化、ゲーム理論、オペレーションズ・リサーチ
	松本 俊之	インダストリアル・エンジニアリング、改善技術、生産情報システム
	水山 元	生産システム工学、生産管理、集合知
准 教 授	小林 和博	数理工学、数理最適化、サイバーフィジカルシステム
	齊藤 史哲	品質情報システム、評価構造、品質管理技術、経営品質評価、品質管理教育

担当教員	
兼任教授	REEDY, David W.
	ROBERTSON, Charles E.
	片見 彰夫

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA  JCB    NICO S



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込
クレジットカード決済

1. トップページ

「申し込む」ボタンをクリック

2. 研究科選択

研究科を選択してください。

3. 入試選択

受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック

4. 留意事項

留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック

6. 申込内容確認

申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック

7. 受付番号確認

受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。)

8. クレジットカード情報入力

支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック

*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。

9. 決済完了

完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。

*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください、
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

 セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

↓

入学検定料等支払

LAWSON

Loppi

MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスマニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払い**ください。



②お支払い後、**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。

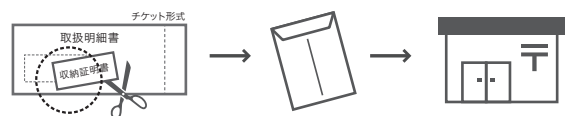


*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3 出願

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院理工学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6033 (相模原事務部学務課)

出願書類チェックリスト（本チェックリストは提出書類の確認用です。提出の必要はありません。）

※募集要項本文を熟読の上、書類を用意すること。（必要な情報はすべて本文も含めて記載があります。）

チェック欄	対象	提出書類	注意点
	全員	志願票	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の印が押されているか ・受験番号は記載不要
	全員	受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・出願コースを記載しているか ・受験番号は記載不要
	全員	振込通知書貼付台紙	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットバンキング/ATMでの支払いは不可。
	全員	レターパックライト（430円）	<ul style="list-style-type: none"> ・「お届け先」欄に、入学書類送付先住所を記入済か <p>※本学から合格者への書類送付に使用しません。</p>
	該当者のみ	特別給付奨学金申請書	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者のみ提出。第一期出願者のみ申請可。 (詳細は、募集要項本文参照。)
	該当者のみ	受験票返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・郵送で出願する方は必須 ・切手貼付、送付先記入しているか

※1 理工FUTURE奨励金については、第一期に出願した者にのみ別途ご案内します。今回、申請書の提出は必要ありません。

青山学院大学大学院入学志願票

(学内進学)

「学内進学」入学試験は、本学理工学専攻への進学を第一志望とする者に対する推薦入学試験制度のため、制度の意味をよく理解して信頼性を損なわないように慎重に出願すること。

2027年度

理工学研究科理工学専攻 博士前期課程		受験 番号	*記載不要	
_____ コース				
フリガナ	男 ・ 女	生年月日		
氏名		西暦	年	月
本籍 都・道・府・県 (外国籍の場合は国籍を記入)				
〒				
現住所		携帯電話番号		
電話番号 ()		メールアドレス		()
学歴(高等学校以降のすべての学歴を記入してください。) 西暦年月日で記載。				
		高等学校	年	月 卒業
青山学院大学	理工学部	学科	年	月 入学
青山学院大学	理工学部	学科	年	月 卒業見込 卒業
		年	月	
		年	月	
		年	月	
		年	月	
職歴 非常勤・アルバイト・嘱託等の記入は不要。 ただし、年月の後に退職・在職中の別を記入してください。				
		年	月 ~	年 月
		年	月 ~	年 月
		年	月 ~	年 月
		年	月 ~	年 月
学生番号		卒業研究 指導教員		

◎以下のすべての項目について必ず記入してください。

卒業論文題目
学部時における主な研究内容
入学後の研究主題及び研究計画の概要
大学院入学後 研究指導を希望する教員名 (要項に記載された教員) ※捺印をいただくこと
修了後の進路希望(具体的に記入してください) (例:就職、博士後期課程への進学、等)
私は、本入学試験により入学を許可された場合、これを辞退いたしません。 出願者署名(自署)

青山学院大学大学院受験票
(学内進学)

2027年度

理工学研究科		受験番号 (本学使用欄)
博士前期課程		
理工学専攻		
コース		
フリガナ		領収印 (本学使用欄)
氏名		
1. 本票をもって入学検定料の領収書とします 2. 受験番号・領収印欄以外はすべて記入してください 3. 本票は入学手続完了まで大切に保管してください	※入学検定料 ¥35,000	

キリトリ線

必ず切り取って
提出すること

振込金受取書
(兼手数料)
入学検定料(本学卒業見込者)

2026年 月 日	金額	円
先方銀行 三井住友銀行 渋谷支店	¥35,000	
受取人	普通預金 口座番号 8404582 (学) 青山学院検定(大学院B)	
御依頼人		様
備考	手数料	円

上記の金額正に受け取りました。
(銀行取扱期限日)
2026年 5月 22日

収納印又は振替印

(取扱店→御依頼人(志願者))

振込通知書(大学院提出用)
入学検定料(本学卒業見込者)

2026年 月 日	金額	円
先方銀行 三井住友銀行 渋谷支店	¥35,000	
受取人	普通預金 口座番号 8404582 (学) 青山学院検定(大学院B)	
御依頼人		様
備考		

上記の通り振込みました。
(銀行取扱期限日)
2026年 5月 22日

収納印又は振替印

(取扱店→御依頼人(志願者)→大学院)

振込依頼書
入学検定料(本学卒業見込者)

依頼日 2026年 月 日	電信扱	手数料	円
先方銀行 三井住友銀行 渋谷支店	金額	円	
受取人	普通預金 口座番号 8404582 ガクアオヤマカクインケンチ(タカウインビ-) (学) 青山学院検定(大学院B)		
御依頼人	打電CD 501 かたが氏名 漢字氏名		
住所			

〈銀行取扱期限日〉
※ 2026年 5月22日
※期限後の取扱不可

収納印又は振替印

※取扱銀行へお願い
FB処理をしていますので、打電CD・カタガ氏名の順序で打電して下さい。

(取扱店保管)

手数料振込人負担

◎各欄の本枠の中だけボールペンで記入下さい。

取扱銀行切取線

手続者切取線

① 収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払いの場合

貼付用紙

② 振込通知書 (大学院提出用) *金融機関から振込の場合

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科 専攻	理工学研究科 理工学専攻	志願コース	コース
受験番号 (記入不要)		課 程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期
フリガナ		連絡先	()
氏 名			

※連絡先には日中連絡が付きやすい電話番号を記入のこと

- ① 「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。(切り取り線の枠内)

① 収納証明書 貼付欄

はがれないように全面のり付けしてください。

支払方法 (当てはまるものに○をつけてください)

- ・ コンビニ
- ・ クレジット

- ② 金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書 (大学院提出用) をはがれないように全面のり付けしてください。
金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

② 振込通知書
(大学院提出用)
貼付欄

はがれないように
全面のり付け
してください。

理工学研究科 博士前期課程 特別給付奨学金 申込書

以下の必要事項をすべて記入し、(予定)指導教員自署後、「学内進学」出願書類と合わせて、出願期間内に学務課へ提出すること。

学生 記入欄			
学生番号	15	所属学科	学科
氏名		希望進学 コース	コース
大学院進学時への 志望動機及び 研究したいこと等			
本給付奨学金の趣旨を十分理解し、奨学生として学業に精進し、社会に貢献できる人材となるよう努力することを誓います。			
署名 (自署)		20 年 月 日	

予定指導教員 記入欄	
上記学生が青山学院大学大学院の奨学生候補者として相応しいこと、内部推薦によって入学する予定であることを確認しました。	
署名 (自署)	20 年 月 日

事務使用欄

研究科長	専攻主任	所属長	研究科担当	教授会決定	審査結果	給付額 (授業料相当)
				20 年 月 日承認	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格	<input type="checkbox"/> 全額 <input type="checkbox"/> 半額